



Press Information

VPR15-026

2015年3月5日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン、革新技術のシンクタンクとして、 総額 115 億ユーロの投資により研究開発分野で世界をリード

- Prof. Dr. マルティン ヴィンターコルン:「フォルクスワーゲンは“フューチャートラックス”プログラムにより自動車の技術革新の先頭に立とうとしている」
- 電気自動車の開発、車両および生産・販売分野のデジタル化に注力
- 46,000 人の研究開発者、10,000 人以上の IT 専門家が未来のモビリティのために尽力
- 最多の低 CO₂車ラインアップ:すでに 57 モデルが 95g/km の目標をクリア
- ヴィンターコルン:「技術革新への取り組みが真に歓迎される環境」をヨーロッパに求める
- 2015 年は良好な出足:1~2 月のグループ総販売台数が初めて 150 万台を突破

ジュネーブ/ウォルフスブルグ、2015 年 3 月 2 日

フォルクスワーゲンは昨年、研究開発に 115 億ユーロの投資を行いました。これは史上最大規模であるだけでなく、世界のどの企業よりも多額の投資です。ジュネーブ国際モーターショー開幕に先立ち、3 月 2 日にフォルクスワーゲン AG 最高経営責任者(CEO)である Prof. Dr. マルティン ヴィンターコルンは会見を行ない、次のように述べました。「フォルクスワーゲンはいまや、技術革新のシンクタンク(一大拠点)となっています。私たちは、テクノロジー開発を通じて、未来への道を切り拓こうとしているのです。」

ヴィンターコルンによれば、世界でもっとも革新的な企業であるフォルクスワーゲンでは、現在、46,000 人の研究開発者と、10,000 人以上の IT 専門家が、代替ドライブシステムの開発、車両や生産設備のデジタル化といった、モビリティの未来に関わる仕事に就いています。フォルクスワーゲンは今日、未来志向の“フューチャートラックス”(未来へつながる道)プログラムにより、技術革新の分野で自動車業界の先頭に立とうとしています。しかし、アジアや米国との競争で勝ち残っていくためには、ヨーロッパの産業からはさらなる勇気と革新力を、そして政治や社会からはより開かれた環境と強力なバックアップを求めました。

ヴィンターコルン会長は、次のように強調しています。「フォルクスワーゲンにおいて、テクノロジーは決して自己完結するものではなく、お客様を含む人々の役に立つものです。テクノロジーのおかげで、ドライビングはより安全になり、快適になり、資源の無駄も減り気候保全にも繋がっています。またテクノロジーによって、自動車とデジタルの世界も結び付けられることになります。」

さらに、次のように続けています。「とりわけヨーロッパにおいては、新技術の開発に対する懐疑的な姿勢が以前から根強く、今後は技術革新への取り組みをより積極的に歓迎する社会環境を作っていかなければなりません。ヨーロッパは、自動車のエンジニアリングとマニファクチャリングの中心地として、例えば自動運転といった重要なテクノロジーの開発に、明確な意思と迅速さをもって取り組んでいくべきだと考えます。」

加えて、ヴィンターコルンは「驚かれるかも知れませんが、私は Apple や Google といった企業が自動車に興味を持ち始めたことを、大いに歓迎しているのです。それは、今後自動車が、デジタルに精通した人々に、より広く受け入れられる可能性があるからです。」

フォルクスワーゲンは、電気自動車、または車両、生産や販売分野のデジタル化、そして自動車の役割が様変わりし、再定義される様な社会構造の変化など自動車産業の未来に関わる問題に大きな関心を寄せています。「私たちの未来を見据えた“フューチャートラックス”プログラムは、そうしたすべての活動を包括するものです」と、ウィンターコルンは語っています。先進的なセンサーテクノロジーと外部のITネットワークとの連携を果たす「コネクティビティ」により、フォルクスワーゲン グループはすでに、世界中の路上に最大規模のネットワークで結ばれた自動車群を提供しています。また、低CO₂排出車のラインアップも業界随一で、すでに57モデルが95g/kmの目標をクリアしています。また、エレクトリックドライブのテクノロジーを採用したモデルの品揃えでも業界をリードしており、すでに電気自動車とプラグインハイブリッドをあわせて9つのモデルを提供しています。

環境面での目標達成にむけてのフォルクスワーゲンの取り組み

ウィンターコルンは、「フォルクスワーゲンは環境対策の面でも必ず目標を達成します」と述べています。そして、現在低いレベルにある原油価格については、「安い原油価格がずっと維持されるわけはありません。燃料価格にかかわらず、CO₂の排出制限は適用されていきますし、ここで問われるのはやはり我々の気候保全に対する責務です。フォルクスワーゲンの多様な駆動システムがそれに対する応えなのです。」また、ガソリン、ディーゼルエンジンの更なる効率改善が不可欠だとしたうえで、次のように付け加えました。「一点だけはっきり申し上げます。ディーゼルを軽視する人々はCO₂排出削減目標の達成を危ういものにしていきます。」

フォルクスワーゲン グループは2012年に、環境対策に関する独自の指針を打ち出しましたが、ここまでの進捗は非常に順調で、環境面での重要なターゲットのいくつかは、スケジュールを前倒して達成しつつあります。例えば、EU域内で販売した車両の平均CO₂排出量は、昨年時点で125g/kmにまで削減されました。これは、2010年時点と比べて13%、1995年と比べると、実に31%もの削減を意味し、グループとして、法的に定められた2015年の基準もすでに下回っています。また、最終的に25%を目標に掲げている生産工程におけるCO₂排出量の削減も、過去4年の間に、すでに19%の削減が達成されています。これについてウィンターコルンは、次のように述べています。「様々な取り組みは前半より後半の方が厳しくなります。今後は1グラム、1パーセントの削減に、とてつもない努力が必要となるでしょう。」

フォルクスワーゲン グループは、販売面においても、昨年史上初めて突破した1千万台に続いて今年も良好なスタートを切ることができました。1月～2月における販売台数は史上初めて150万台を上回りました。